なめがた市民100人委員会「第3班」議事メモ

議論した基本目標	地域に根差した産業を活性化し、「働く場」を確保する
コーディネーター	前田真(北海道清水町)
審議員	田中俊(構想日本)
説明担当者(自治体)	商工観光課、事業推進課
日時	2021年 6月27日(日) 15時10分から16時00分
その他	参加者数 会場 6名 オンライン: 3名 欠席者数 24名

総括

コーディネーター総括

- ▶ 市民の声を聴く場を作ることは、市役所の声を届ける事。市民の感覚を取り入れた費用や雇用のマッチング、企業誘致、跡地利用を目指していただきたい。
- ▶ 基本目標を達成するために、優先順位をつけるなら、第一に「経済を活性化させる」 ことに重きを置くと良い

協議の流れ(摘録)

協議しているテーマ①「働く場の確保」

コ)前回の復習。行方で働きたい人の求人求職のマッチングがうまくいってない。行方の 土地柄を活かした産業の活性化、ふれあいランドなど。また、廃校になった学校の利活 用。ファーマーズヴィレッジのように。

課題をまとめると、地域の魅力づくりが足りていない。今日は働く場の話から始める。 『働く場がないわけではない、労働条件が見合わないから行方で働かないんだ』という 話。あとで企業誘致の話もする、どういう感覚で進めていくのが市民感覚に合っている かを議論する。

- コ) 行方が経済的に発展するにはどうすればよいかを議論して、就職についてはそのあと。 産業全般としてどのようにしたら儲けられるようになるか。行方の産業は何が不足して いるか。
- 委) 廃校の再利用について、キャンプ場とかいいんじゃないかと考えていた。水道が使えて、グランドがあるから車も停められて。福島に空き地をキャンプ場にして成功した例がある。

委):委員、コ):コーディネーター、審):審議員、市):説明担当者

- コ) 廃校跡地をテーマに進めてみる。自分が市職員ならどう廃校跡地を何に活用するか。 例えば、すでにファーマーズヴィレッジがある。先ほどキャンプ場の例を出してもらっ た。他には。
- 委) 1 歳のこどもがいるが、公園がない。あっても遠いから車で行く。公園には歩いていく、 というイメージがあるが、行方ではお弁当持って、車で遠くに行かないといけない。重 装備になる。
- 委)休みに学校のグランドに入って遊ばせるのはダメなの?
- 市) 管轄が違うので正確にお答えできない。
- コ)生活者目線に立った話でよい。市内で労働条件が良ければ働きたいが、現状市外に働きに出ている参加者がいる。
- 委)交通の結節点になる建物はあってもよい。鉾田からは麻生を経由して東京へ。玉造は 茨城空港へ行く運休中の高速バスくらいしかなく、土浦や石岡まで行かないと東京に行 きにくい。パークアンドライドの施設。大規模なものだと水泡潮来のバスターミナルの イメージ。
- コ) バスターミナルのイメージ。
- 委)企業でも難しいことをやってみては。人が楽しめる施設も良いが、フリースペース・ ワークスペースにするのはどうか。リモートワークの場所とか。
- コ) 廃校利用にリモートワークの場所としての提供という話が出たが、事業推進課の廃校 跡地利用などは、公募をかけている?
- 市)始まっている。利用に関するアンケートを取ったり、廃校を企業に見に来てもらった りしている。色よい返事がないところもある。来てほしくない企業もある。
- コ) 廃校利用について、市が「市民の声を聴く」場は考えていない?
- 市)考えていない。地元企業にも声をかけながら、大手の企業から話も聞いている。元は 学校なので個人の方でやろうというのは難しいと思っている。建物があるので活用を、 ということもあるが、耐震の問題があって基本的には建物は壊して更地にしていく予定。
- コ)募集はかけているが、耐震がネックになると。
- 市) 自分たちで耐震加工をするというならいいが、そういう企業もなかなかない。今後は 今までと同じことでは進まないなら方向転換も考えられる。今年度に工事が始まるとこ ろもある。
- 委)新しいところは何をやる?
- 市)自動車の工場(こうば)が建つ。潮来にあるが、手狭になったので場所替え。
- コ)話を変える。今後は過疎が進み、空き店舗なども出てくる。ハコモノがあるから企業 誘致すると分かりやすいかと思った。すると公園など社会資源が不足しているという話 もあった。商工観光課で場所の提供は考えている?
- 市)場所は考えてない。融資関係の制度はいくつかある。担当部署として、商工観光課は 場所を持っていないので紹介もしていない。
- コ) 行方市に圧倒的に不足している社会資源は?

- 委) 鹿行地域で行方市はずば抜けてお店が少ない。スーパーも市内に2カ所。
- 委)周辺で用が足りる。どの家庭も車があるから、外に出ている実情がある。玉造でも同様。
- コ)長く住んで、不便になったと思うことは?
- 委) 20 年になるが、遊ぶところは 0。知り合いの医者も言うが、行方市に来て心を休める場所がない、楽しむ場所がない。魚釣りなんかも安全にできる場所がない。
- コ)女性の目線から。
- 委) 高校の時から遊ぶ場所はなかった。ふらっと行ってぼんやりするところがない。スタ バみたいなところがあればいいのとは思う。喫茶店とか、気軽に入れない。
- コ) 若いカップルが出かけるとしたら、行方の人はどこにいく?
- 委) 出かけるなら鹿嶋・神栖・佐原とかいくかな。
- 委) 玉造の人は水戸が多い。
- 委)なんなら東京に出かける。
- コ) 商業観光課としては耳が痛い。
- 市) 商業施設が成り立たない。昔は映画館とかあった。
- コ)市内で買い物するか?
- 委)しない。
- 委)いや、する。
- 委)市外に働きに出て、そのまま買い物して帰ってくる。
- コ)行方市はベッドタウン。夜間人口の方が多い。市外に働きに出ている市民が多い。市 内に企業誘致すると人材の奪い合いにならないかと思ったが、そうはならない。しかし、 ブラック企業を誘致しても意味がないことは分かると思う。

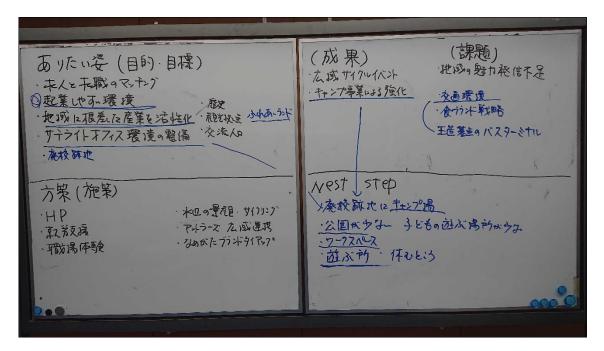
市民が欲しいと思う社会資源と、商工観光課が連れてくる社会資源がずれているとダメ。時給が高くない会社は、社長が儲けていない会社。社長が儲けていない会社から時給を高くすると、会社がつぶれてしまう。だから市として、事業所当たりの収入が低いから、産業を活性化させて経済を回す。ふれあいランドはその起爆剤になれば。なめがたのGDPをあげる施策を打ち出していく。

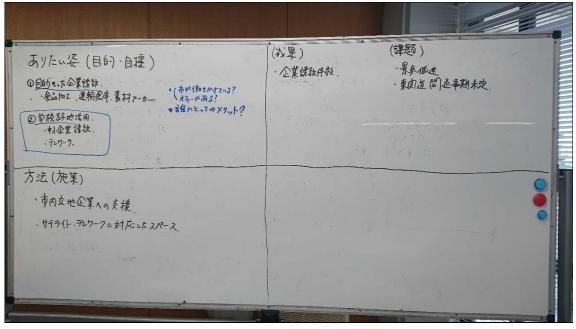
企業誘致は、変な事業所は誘致しないという力強い言葉があり、無駄な費用をかけているわけでもないので、このまま進めてもらってもいいと考えている。

- 審)買い物や遊び場など外で事足りる、という話があった。経済を回すお金を稼ぐ手法を、 外から人を連れてくるという視点で話してきたが、3万人が市内で金を使えば、その分経 済が回るのでは。高校生の遊び場が市内にあれば、新たな雇用先になるかも。
- コ)どこに遊びに行っても自由。役所の立場では、市内に金を落とす仕組みを作りたがるが、時代に合わせて変える必要がある。行政としては施設整備や事業展開は、時代や市 民感覚にあったものに出来るかを考えてほしい。

優先順位をつけるなら、まず経済を活性化することに重きを置くことを考えた内容で 基本目標実現シートの修正をしてほしい。 市民からいろんな意見が出てきたが、これまで市民側から「言う機会がなかった」ということだと思う。市民の感覚を取り入れた求人求職のマッチングは大切で、市民の声が聴ける、そういう場所を作ってあげれば。経済活性化を議論するときに、役所の中だけでなく、商工会議所とだけでなく、市民の声を吸い上げてほしい。

ホワイドボードの写真(コーディネーターが議論をまとめた資料含む)





委):委員、コ):コーディネーター、審):審議員、市):説明担当者